

令和7年9月

各都道府県教育委員会教育長 様
各区市町村教育委員会教育長 様
各小中学校長 各位
各教育関係者 各位

全国小学校理科学研究協議会
会長 林 禎 久
第58回全国小学校理科学研究協議会研究大会
愛知大会実行委員長 瀬 瀬 孝

第58回 全国小学校理科学研究協議会研究大会 愛知大会（最終案内）

令和7年度 愛知県小中学校理科教育研究発表会

- ◇ 期 日 令和7年11月20日（木）・21日（金）
- ◇ 大会主題 「グローバル社会を生き抜く心豊かな人間を育てる理科教育」
- ◇ 愛知大会研究主題
「問題解決の道筋を構想し、自然の事物・現象をより深く理解する子どもの育成」
ー理科を学ぶ幸福感を味わう、主体的で子ども中心の学びを通してー

研究主題について

現行学習指導要領実施6年目となる本大会を、現行学習指導要領の総括の場と考えています。理科における資質・能力の育成に向け、理科の見方・考え方、学年ごとの問題解決の力など、授業の土台となるものを重視しながら実施していきます。また、大会を通じて、これまで培ってきた理科教育の意義や価値を改めて見つめ直す機会とします。その上で、本大会では以下の2点に焦点を当てます。

1点目は、「主体的で子ども中心の学び」です。問題解決の過程を大切にしながら、その中で主体的で子ども中心の学びを展開する方策を示します。過程を踏まえることが目的ではなくその過程で何を
するのか、何を育てたいのかを大切にしていきたいと考えます。

2点目は、「理科を学ぶ幸福感」です。社会的にも教育的にもこれから大切になってくるウェルビー
イングの向上に向け、本大会では、理科だからこそ味わえる幸福感を示していきます。

上記の2点は、互いに関連し合っています。幸福感という視点を取り入れることで、これまで以上に
子ども中心の学びを構想することができるようになります。また、幸福感を味わいながら学びを進め
ていくことは、未来に向けて生きる力を育んでいく上でも有意義なことであると考えます。愛知・名古屋から、理科教育の新たな展開を示す気概で準備を進めています。

- ◇ 主 催 全国小学校理科学研究協議会
愛知県小中学校理科教育研究協議会 名古屋市理科教育研究会
- ◇ 後 援 文部科学省 愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会
全国連合小学校長会 愛知県小中学校長会 名古屋市立小中学校長会
全国中学校理科教育研究会 日本初等理科教育研究会
(公財) ソニー教育財団 ソニー科学教育研究会
- ◇ 参加費・資料代 7,000円（大会要項・指導案代を含む）



〔第1日目〕 令和7年11月20日（木）

◇日程及び会場

全小理理事会、総会、研究全体会、講演会、レセプション

〈会場〉 岡谷鋼機名古屋公会堂（OKAYA NAGOYA HALL）

○地下鉄鶴舞線「鶴舞駅」下車 4番出口より約150m

○JR中央本線「鶴舞駅」下車 公園口より約140m

○名古屋市営バス「鶴舞公園」下車 約400m

〈時 程〉

9:30 10:00 12:00 13:00 14:00 15:30 17:00 17:30 19:30

理事 受付	全小理 理事会	一般 受付 昼食	総会	研究全体会 ・基調提案 ・指導講話	記念講演	移動 受付	レセプション
----------	------------	----------------	----	-------------------------	------	----------	--------

研究全体会

○ 基調提案

「問題解決の道筋を構想し、自然の事物・現象をより深く理解する子どもの育成」
ー理科を学ぶ幸福感を味わう、主体的で子ども中心の学びを通してー

○ 指導講話：文科省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 有本 淳 様

○ 記念講演

演題：「世界で活躍できる新医療人の育成」

ー医療におけるロボティクス・生成AI・ネットワークテクノロジーの応用を目指してー

講師：学校法人藤田学園 副理事長（前 藤田医科大学学長） 湯澤 由紀夫 様

【講師紹介】

1981年 名古屋大学医学部卒業。腎臓内科学を専門とし、1987年に名古屋大学医学部にて博士号を取得。その後、米国ニューヨーク州立大学バッファロー校にて客員准教授（1987年～2002年）を務め、国際的な研究活動に従事。

帰国後は、名古屋大学大学院病態内科学講座腎臓内科学准教授を経て、2010年に藤田保健衛生大学（現・藤田医科大学）医学部腎臓内科学 教授に就任。2014年から2021年まで藤田医科大学病院院長を務め、大学経営や医療の発展に積極的に貢献。

2021年7月から2025年3月まで藤田医科大学学長を務め、教育・研究に加え、日本政府の「医療DX2030」ビジョンの実現に向け、臨床研究および医療データの二次利用の基盤構築を推進。

2025年4月より学校法人藤田学園 副理事長に就任し、引き続き、医療DXを推進グローバルに活躍できる医療人材の育成にも注力している。



〔第2日目〕 令和7年11月21日（金）

〈会場〉 名古屋市立なごや小学校 名古屋市立瑞穂小学校 名古屋市立船方小学校

〈時 程〉

8:30 9:00 9:25 9:30 10:15 10:25 11:10 11:20 12:50 13:50 14:50 14:55 16:20 16:25

受 付	机 の 設 置	移 動	公開 授業Ⅰ	移 動	公開 授業Ⅱ	移 動	学年別 分科会	昼 食	授業 分科会	移 動	全体会 指導講話	閉 会
--------	------------------	--------	-----------	--------	-----------	--------	------------	--------	-----------	--------	-------------	--------

研究主題「夢中になって追究し、自ら学びを進め、学ぶ幸福感が高まるなごやっ子の育成」
～「子どもたちが創り出す問題解決」を通して～」



学校HP

なごや小学校では、これまでの取り組みや子どもの実態に基づいて、研究主題を「夢中になって追究し、自ら学びを進め、学ぶ幸福感が高まるなごやっ子の育成～『子どもたちが創り出す問題解決』を通して～」と設定しました。

夢中になって追究するとは、「あれ？どうしてかな」「〇〇と△△は関係あるのか調べてみたいな」という子どもの思いや願いに基づいて子ども自身が問題を設定し、理科の見方・考え方を働かせて対象との関わりに深く没頭しながら、自ら追究することであると考えます。自ら学びを進めるとは、発達の段階に応じて、解決の道筋について自分なりの考えや見通しをもつとともに、仲間と協働して科学的に考えながら、子どもたちが自律的に学びを進めていくことであると考えます。

これからの人生において未知の出来事に会ったときにも、よりよい状況にするために、学ぶ幸福感を原動力として、理科の見方・考え方を生かして物事を科学的に判断したり、他者と協働したりしながら、課題を解決しようとする子どもを育てていきたいと考えています。

■公開授業Ⅰ（9時30分～10時15分） ■公開授業Ⅱ（10時25分～11時10分）

学年組	会場	授業Ⅰ 単元名	授業者	学年組	会場	授業Ⅱ 単元名	授業者
3 1	教室	電気の通り道	森本 和良	3 2	教室	電気の通り道	渡邊 佑真
3 3	図工室	地面のようすと太陽	梅里 優一	4 2	教室	ものの温度と体積	北野 陽太
4 1	教室	ものの温度と体積	年光 祐里佳	4 3	教室	雨水のゆくえ	白岩 巧基
5 1	教室	電磁石の性質	中西 大智	5 2	教室	電磁石の性質	水谷 果菜
5 3	運動場 (雨天:体育館)	流れる水のはたらきと 土地の変化	石野 幹	6 2	理科室	ものの燃え方	松井 愛
6 1	理科室	ものの燃え方	田中 裕明	6 3	教室	体のつくりとはたらき	新美 一輝

■学年別分科会（11時20分～12時50分）

分科会	発表内容（テーマ）	都道府県	発表者	助言者
3年	児童が理科の見方を働かせ、学びを深める指導と評価の工夫	東京都	府中市立府中第三小学校 指導教諭 葛貫 裕介	台東区立石浜小学校 校長 安藤 良介
	単元構想の工夫を通して、学んだことを自然や生活に結び付けようとする子どもの育成～「音のせいしつ」の単元構想の工夫～	三重県	桑名市立深谷小学校 教諭 伊藤 敏之	四日市市立八郷西小学校 校長 式井 雅子
4年	子どもが「初歩的な粒子概念」を更新する4年間の系統的な学び～4年生の学びの姿を中心に～	山形県	山形大学附属小学校 教諭 神保 諒一	山形市立出羽小学校 校長 武田 重泰 山形市立南沼原小学校 校長 山口 雅和
	子どもの学びの道筋を生かす理科学習～「粒子」領域における質的・実体的な見方を育成する指導の工夫を通して～	奈良県	斑鳩町立斑鳩小学校 教諭 船木 祐太郎 奈良市立登美ヶ丘小学校 教諭 山岡 知樹	奈良市立済美小学校 校長 勝谷 征彦
5年	見方・考え方を働かせる主体的な問題解決～第5学年「花から実へ」の実践を通して～	群馬県	前橋市立月田小学校 教諭 関 洋輔	前橋市立中川小学校 校長 日向 聡
	主体的に問題解決しようとする児童の育成ーモデル実験の工夫とゆざワークシートの導入を通してー	愛知県	豊田市立中山小学校 教諭 湯澤 貴司	豊田市立明和小学校 校長 宇井 一弘
6年	子どもが主体的に創る理科学習～「協働」と「個」の側面から～	大分県	大分市立西の台小学校 教諭 木下 順由	大分市立坂ノ市小学校 前校長 山元 一哉
	主体的に学び、科学的に問題解決する児童の育成～「単元計画表」を用いた学習活動を通して～	愛知県	稲沢市立三宅小学校 教諭 柴澤 蒼季	稲沢市立牧川小学校 校長 小嶋 智博

■授業分科会（13時50分～14時50分） ※助言者は、学年別分科会と同じ

■全体会 指導講話 福島大学人文社会学群人間発達文化学類 教授 鳴川 哲也 様

名古屋市立瑞穂小学校 校長 荻野 隆美 (地下鉄「瑞穂運動場西」下車約260m)
〒467-0816 名古屋市瑞穂区牧町2-46 Tel 052-851-6261 Fax 052-853-2540

研究主題「問題解決をしていく楽しさを味わうことができる子どもの育成」
～科学のチカラ×みんなのチカラ～



学校HP

瑞穂小学校では、自然の事物・現象と出合ったときの驚きや疑問、友達との意見の違いなど、子どもの考えの揺らぎである【既知とのずれ】【仲間とのずれ】を大切にしています。このような「ずれ」を子どもに意識させる事象提示をすることで、考えの揺らぎによる問題が見いだされ、その問題を解決したいと主体的に取り組むための原動力になると考えています。

研究主題にある「問題解決をしていく楽しさを味わう」は、本校が目指す「理科を学ぶ幸福感」です。「科学のチカラ × みんなのチカラ」を発揮して問題を解決した子どもは、科学的に解決することができた喜び、自然のすばらしさに気付いた喜び、学習したことが生活に役立つ喜びなどを理科日記「サイエンスダイアリー（SD）」に表現することを通して、理科を学ぶ幸福感を醸成していくと考えています。

■公開授業Ⅰ（9時30分～10時15分） ■公開授業Ⅱ（10時25分～11時10分）

学年組		会場	授業Ⅰ 単元名	授業者	学年組		会場	授業Ⅱ 単元名	授業者
3	1	教 室	ものの重さ	堀田 真広	3	2	教 室	ものの重さ	藤井 雄介
4	2	教 室	雨水のゆくえ	椿井 美月	3	3	教 室	ものの重さ	脇田 里那
4	3	理科室	雨水のゆくえ	鈴木 由紀	4	1	多目的室	雨水のゆくえ	早川 敦浩
5	3	図工室	もののとけ方	土田 祐紀	5	1	図工室	もののとけ方	則竹 孝治
6	1	体育館	月と太陽	安田 征弘	5	2	体育館	流れる水のはたらきと 土地の変化	松島 実早
6	2	教 室	土地のつくりと変化	勘解由 怜子	6	3	理科室	土地のつくりと変化	仲尾 翼

■学年別分科会（11時20分～12時50分）

分科会	発表内容（テーマ）	都道府県	発表者	助言者
3年	視覚的な教具・教材を用いた理科学習 ～3年「音のふしぎ」の学習を通して～	千葉県	横芝光町立横芝小学校 教諭 鈴木 政太郎	東金市立城西小学校 校長 伊藤 英希
	課題意識をもち、主体的に学ぶ児童の育成	愛知県	瀬戸市立八幡小学校 教諭 安藤 駿輔	瀬戸市立陶原小学校 校長 山中 晶貴
4年	子どもたちの経験・思考が 根拠のある予想につながる 理科 ～ハテナを解決するための主体的な授業を目指して～	福井県	高浜町立和田小学校 教諭 今川 菜生	福井市立東藤島小学校 校長 角南 達三
	子どもが自律的に学ぶ理科学習	宮崎県	宮崎大学教育学部附属小学校 教諭 永友 周作	宮崎県教育庁義務教育課 指導主事 黒木 知佳
5年	自然と向き合い、多様な考えを受け入れ、主体的に問題を解決する理科学習 ～評価を基盤とした指導による資質・能力の育成～	東京都	江東区立第二亀戸小学校 主幹教諭 堀江 美菜	杉並区立松ノ木小学校 校長 笠原 秀浩
	ウェルビーイング的思考を基に自己調整する力を育てる理科学習	愛知県	名古屋市立正保小学校 教諭 山田 啓太	名古屋市立白沢小学校 校長 遠藤 勝也
6年	理科から広がる主体的な課題解決学習 ～暫定性を意識した理科学習の実践～	京都府	相楽東部広域連立立笠置小学校 教諭 芝原 佑記	京都府教育庁指導部学校教育課 指導主事 北川 俊介
	「考察力をUPさせるには？」という問いを問題解決の流れに乗せて解決する子どもたち	山口県	下松市立花岡小学校 教諭 赤星 冴	下松市立東陽小学校 校長 山縣 佳洋

■授業分科会（13時50分～14時50分） ※助言者は、学年別分科会と同じ

■全体会 指導講話 学校法人希望が丘学園 統括顧問 日置 光久 様

研究主題「仲間と共にひたむきに観察・実験に取り組む子どもの育成」
～船方コンパス（学び方）をもって航海（ウェルビーイング）へ～



学校HP

船方小学校では、子どもたちが理科を通じてウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良い状態）を実感できる学びを目指し、「仲間と共にひたむきに観察・実験に取り組む子ども」の育成に取り組んでいます。研究では、学びの道筋を示す道標として一人一人が持っている学び方である「船方コンパス」を軸に、安心できる環境づくり、子どもの自発的なチャレンジを促す教師の伴走、振り返りによる成長の実感を重視しています。理科ならではの体験的な学びを通して、子どもたちが「できた」「わかった」という喜びを仲間と分かち合いながら、将来に希望をもって主体的に学び力を育てています。

また、教師自身も子どもとともに学びを楽しみ、授業づくりに取り組む姿勢を大切に、子どもも大人も幸せを感じられる学校づくりを進めています。

■公開授業Ⅰ（9時30分～10時15分） ■公開授業Ⅱ（10時25分～11時10分）

学年組	会場	授業Ⅰ 単元名	授業者	学年組	会場	授業Ⅱ 単元名	授業者
3 1	教室	電気の通り道	水田 良佑	3 2	教室	電気の通り道	川崎 航
4 1	教室	わたしたちの体と運動	西川 賢太郎	3 3	教室	電気の通り道	澤田 智
4 3	教室	わたしたちの体と運動	湊 大輝	4 2	教室	わたしたちの体と運動	駒木 遥
5 3	教室	もののとけ方	乾 里帆	5 1	理科室	もののとけ方	飯田 望夢
6 2	教室	土地のつくりと変化	犬飼 美咲	5 2	教室	もののとけ方	浅井 龍
6 3	図工室	土地のつくりと変化	中村 真希	6 1 4	体育館	土地のつくりと変化 (2クラス合同)	瀬瀬 拓弥 安藤 嘉浩

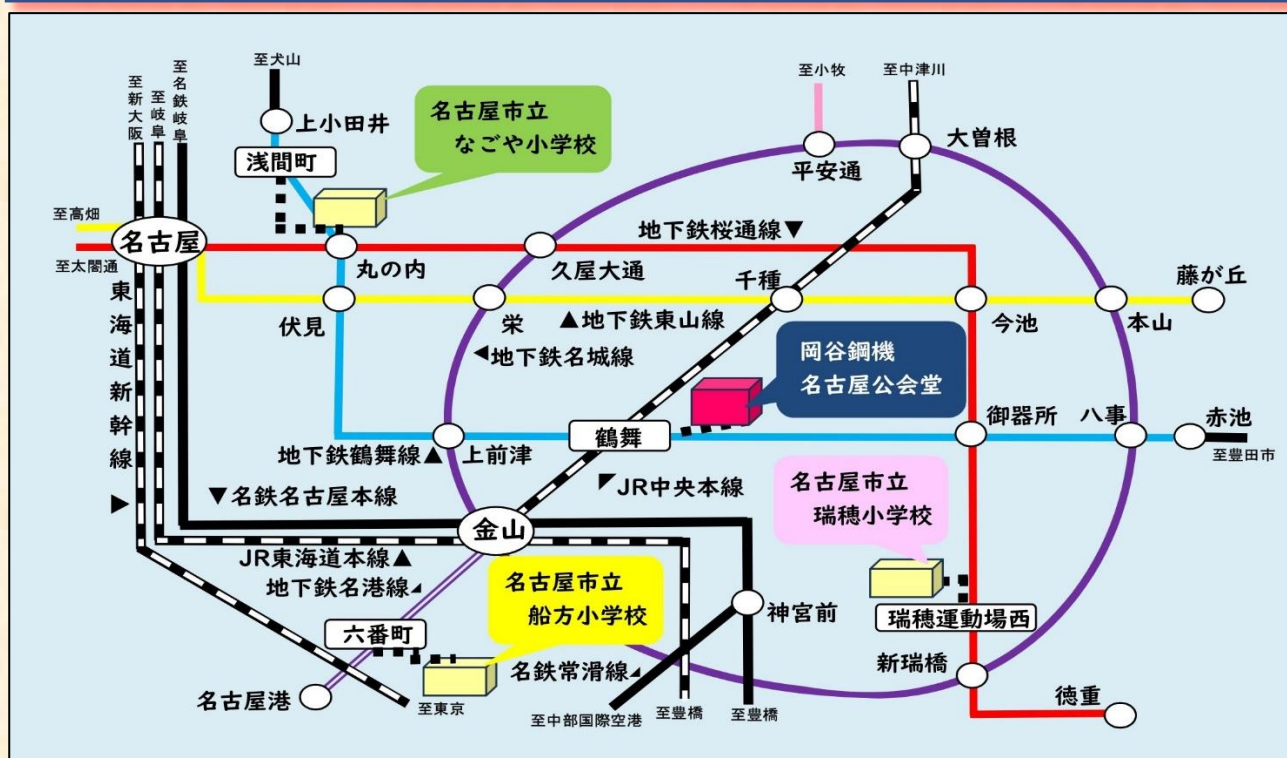
■学年別分科会（11時20分～12時50分）

分科会	発表内容（テーマ）	都道府県	発表者	助言者
3年	自然を愛し、主体的に問題解決することができる子どもを育む理科授業の創造	鹿児島県	鹿児島大学教育学部附属小学校 教諭 齋藤 祐聖	鹿児島県総合教育センター 研究主事 北原 深志
	自然に親しみ、自らの学びを振り返り、学びにつなげる理科学習の創造 ～見方・考え方を働かせ、科学的に問題解決する子どもをめざして～	大阪府	大阪市立豊崎本庄小学校 首席 藤崎 健治	堺市立家原寺小学校 校長 馬場 博志
	自然に親しみ 自ら学びを進める子どもの育成		堺市立八上小学校 教諭 下村 大樹	
4年	解決の方法を発想する力を育成する理科学習 ～変数に着目した指導法の工夫を通して～	茨城県	結城市立結城西小学校 教諭 太田 洋人	茨城県県西教育事務所 指導主事 篠崎 祐一
	問題を自分ごと化させながら主体的に追究に向かう子の育成	愛知県	田原市立田原中部小学校 教諭 鈴木 健斗	田原市教育委員会学校教育課 指導主事 八木 悟郎
5年	一人一人が他者の気付きや視点の違いを基に問題を見だし、繰り返し仮説を実証、更新することで科学的な認識を深める理科学習 ～学びの道筋を生み出す学習計画書の活用～	北海道	札幌市立緑丘小学校 教諭 磯川 祐人	札幌市立平和通小学校 校長 増谷 忍
	いつ問題を「見いだす」のか ～疑問から問題へつなげる～	愛媛県	愛媛大学教育学部附属小学校 教諭 水口 達也	松山市立栗井小学校 校長 川西 潤
6年	問題解決の過程を自分達でたどる理科授業	静岡県	静岡市立清水入江小学校 教諭 篠宮 慶大	静岡市立清水飯田小学校 教頭 安部 広敏
	主体的に理科学習に取り組むことができる児童の育成	愛知県	名古屋市立楠小学校 教諭 寺本 充孝	名古屋市立自由ヶ丘小学校 校長 羽澄 大介

■授業分科会（13時50分～14時50分） ※助言者は、学年別分科会と同じ

■全体会 指導講話 愛知教育大学 教育学部 教授 大鹿 聖公 様

各会場のご案内



研究構想図

大会主題 **グローバル社会を生き抜く心豊かな人間を育てる理科教育**

愛知大会研究主題

問題解決の道筋を構想し、自然の事物・現象をより深く理解する子どもの育成
ー理科を学ぶ幸福感を味わう、主体的で子ども中心の学びを通してー

主体的で子ども中心の学びで高まる資質・能力

知識・技能の習得

思考力・判断力・表現力等の育成

学びに向かう力・人間性等の涵養

研究内容 1

**主体的で子ども
中心の学び**

(3) **結論を導き出す場面**

- ・結果を表やグラフ化して
予想や仮説と比較
- ・問題に正対した結論の
言語化

結論の導出

考 察

結果の整理

(2) **実証する場面**

- ・見通しに働かせる
論理的思考
- ・検証計画に働かせる
理科の考え方

観察・実験

検証計画の立案

予想や仮説の設定

(1) **問題を見いだす場面**

- ・違いがある事物・現象
の提示
- ・問題の設定に
働かせる理科の見方

問題の設定

事象への働きかけ

研究内容 2

理科を学ぶ幸福感

(3) **生活に生きる有用感**

- ①見方・考え方を働かせて
日常生活を捉え直す
- ②知識を得て、仕組みを共に考え
日常生活に生かす

(2) **自然の事物・現象の
すばらしさ**

- ①未知の事物・現象に
出会ったときの驚き
- ②自然の神秘や巧みさを
知ったときの感動

(1) **問題を科学的に
解決するよさ**

- ①科学的な根拠をもって判断する
- ②論理的な思考力を身に付ける
- ③多様な他者と協働的に関わる

ICTの活用 GIGAスクール構想 1人1台端末 / 指導と評価の一体化

参加申込について

① 申込方法

右 QR コードまたは URL の大会申込専用サイトよりお申し込みください。

全小理愛知大会ホームページ、名古屋市理科教育研究会ホームページから大会申込専用サイトへ進むこともできます。

これらのページは、全国小学校理科研究協議会ホームページにもリンクしています。

☆ 大会申込専用サイト

QR コード



☆ 大会申込専用サイト URL

<https://www.knt.co.jp/ec/2025/11/science/>

☆ 申込の際、「**スクリレ**」についても併せて登録をお願いします。参加者と事務局とをつなぐ連絡ツールとして、以下のように活用する予定です。

- ・ 事前に電子データを配信（研究内容・指導案等）
- ・ 日程変更や持ち物等の確認
- ・ 当日の受付チェックインシステム
- ・ 各会場校からの連絡
- ・ 事後アンケートの集約

次ページよりアプリのインストール→参加者登録を進めてください。

申込受付開始：9月1日（月）10時～

申込締切：10月3日（金） 振込締切：10月24日（金）

② 大会参加費

大会参加費は、7,000 円（税込）です。大会要項と指導案集3校分を含みます。

学生の方の大会参加費は、2,000 円（税込）です。ただし、お渡しする資料は一般の方と異なります。

大会要項・指導案集（3校分）を追加で購入する場合は、4,000 円（税込）で会場受付にて承ります。

③ 参加費用の支払い方法

お申込み後、ホームページよりご予約内容を各自ご確認ください、所定の口座へ振込をお願い致します。振込手数料は申込み者負担となります。

申込確認書は、ホームページ上より出力が可能です。必ず、大会当日お持ちいただき、各受付でご提示をお願いいたします。「スクリレ」に登録していただくと、QRコードを使って、受付を簡単に済ませることができます。

大会実行委員長 名古屋市立港楽小学校 校長 瀬瀬 孝

名古屋市港区港楽二丁目3番36号 Tel：052-652-1276 Fax：052-651-3418

大会事務局長 名古屋市立旗屋小学校 校長 鬼頭 保文

名古屋市熱田区夜寒町5番1号 Tel：052-681-1026 Fax：052-681-6497

ホームページ <https://zenshori-aichi.jimdofree.com>

「スクリレ」登録案内書

大会に関するお知らせを「スクリレ」にて配信いたしますので、お早めにご登録ください。

STEP1 「スクリレ」アプリを起動する

初めてご利用する方(アプリインストール)

右の二次元バーコードを読み取る、または、
アプリストアで「スクリレ」を検索してください。



ご利用中の方

アプリ内の[メニュー]>[受信クラス設定]に進みます。

STEP2 参加者登録をする

アプリ内の手順に従い、「クラスQRコード」をカメラで読み取ります。読み取れない場合は「クラスコード」を手入力してください。

ニックネーム(任意)	入力不要	クラスQRコード
出席番号 必須	参加申込み時に発行された予約番号 例) PA00 1234567 -000 赤字部分の7桁を入力してください	
児童生徒名(姓) 必須	所属の学校名・団体名・企業名	
児童生徒名(名前) 必須	参加者のフルネーム	
ニックネーム(任意)	青枠内を入力後に表示されるニックネームは アプリ内のタブに表示されます。 未入力の場合は「こども」と表示されます。	クラスコード 11432-88751-39777-03518

※ 出席番号を誤って入力した場合は、アプリ画面右下の「メニュー」>「受信クラス設定」から修正できます。

出席番号が既に使われていて登録ができない場合

下記までお問い合わせください。

理想科学工業株式会社
デジタルコミュニケーション事業部
畑中(ハタナカ)、依田(ヨダ)

✉ dc-info@riso.co.jp
☎ 03-5441-5130



■お困りのときは、まずこちらをご覧ください

<https://knowledge.sukurire.jp/knowledge>



● スクリレは、理想科学工業株式会社の登録商標または商標です。 ● QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

サービス提供元 理想科学工業株式会社